



てくてくテクトニクス 2021

環境学研究科の推進する地球規模課題10課題

「てくてく」と歩きながら中部地方の様々な風景を観察し、地球科学で岩石圏の運動、建築学で部材間の構法を表す「テクトニクス」をキーワードとして、地形・地質と人間・社会の関係について議論しませんか？今回は、岐阜県各務原市鵜沼付近の木曾川河畔で、最新研究結果を含む日本列島の骨格をなす地質を理解し、周辺の開発ならびに歴史的建造物との関係について、吉田初三郎の鳥瞰図を携えて考え歩いてみたいと思います。

集合日時：2021年11月28日(日) 09:00

集合場所：JR鵜沼駅北口(全行程徒歩、小雨決行)

行程：09:00鵜沼駅 → 木曾川河岸チャート層露頭見学 → 11:30貞照寺見学および昼食
(昼食は各自準備下さい) → 13:00萬松園(旧川上貞奴別邸・国重文) → 16:00解散

申し込み：11月25日(木)までに、参加登録フォーム(<https://forms.office.com/r/RyrDqsFcHc>
またはポスター右下のQRコード)より、参加登録をお願い申し上げます。

コーディネーター：竹内 誠 (地球環境科学専攻 教授)、堀田 典裕 (都市環境学専攻 准教授)

主催：名古屋大学大学院環境学研究科



上図：吉田初三郎『日本ライン御案内(1928)』、下図：木曾川河岸チャート層露頭現場

